○研究所便リ

○東京帝國大學理學部植物學教室分類學研究室ハ戰時中，圖書及ビ標品ノ一部ヲ長野縣輕井澤町集會堂ニ疎開セシメタガ 20 年秋，無事デアツタ本鄕ニ戻ツタ。醫學部藥學教室，農學部各教室モ亦無事デアツタ。理學部附屬小石川植物園ハ戰災ニヨリ溫室，建物一部燒失シ垣根モ燒失シタタメ外部ヨリノ心ナキ侵入ニヨツテ荒ラサレタ。東京文理科大學ハ大學ノ建築物ガ多ク戰災ヲ受ケタニモカヽワラズ植物學教室所屬ノ建物ハ無事デアツタ。京都帝國大學理學部植物學教室，北海道帝國大學理學部及ビ農學部ノ植物學教室，東北帝國大學理學部生物學教室，九州帝國大學各教室ハ無事デアツタ。名古屋帝國大學理學部生物學教室ハ 20 年 5 月戰災ニテ燒失シ，現在工學部ノ建物ヲ借リテキル。廣島文理科大學植物學教室ハ 20 年 8 月 7 日原子爆彈ニテ破壞サレタ。

○資源科學研究所ハ昭和 20 年 5 月戰災ニヨリ全燒シタ。ソノ際植物學部分類研究室ハ久內淸孝氏寄贈ノ標本ヲ中心トシテ研究所ノ各員及ビ地方囑託ニヨリ蒐集整理サレタ約 5 萬點ノ標本ノ大部分ヲ失ツタ。併シ專門圖書（雜誌類ヲ除キ）及ビ本草書ハ長野縣輕井澤町ニ疎開シ幸ニ難ヲ免レタ。同研究所ハ昭和 21 年 3 月末日ヲ以テ文部省ノ所管ヲ離レ，財團法人トシテ新發足シ，東京都新宿區百人町四丁目（舊陸軍第六研究所跡ノ建物ヲ使用）ニ於テ研究施設ヲ整備シ研究ヲ再開シテ居ル。尙最近資源科學研究所彙報第 9 號及ビ 10 號モ出版サレタ。

○東京科學博物館植物學部ハ，戰時中，群馬縣碓氷郡九十九村ト山形縣楯岡町ニ分室ヲ設ケテ標本ノ一部ト圖書ヲ疎開シタ。終戰後，輸送難ノタメニ復歸ガ困難トナツタガ 21 年 5 月ト 12 月ニヤツト復歸スルコトガ出來タ。21 年 9 月ニハ元京大植物學教室講師大井次三郎博士ヲ囑託トシテ迎ヘ 22 年 3 月ニハ今關六也技官ガ林業試驗場ニ榮轉サレタ。疎開シタ標本圖書ノ整備ハ大體終ツタノデコノ 4 月カラ本來ノ仕事ヲ始メルコトガ出來ルヨウニナツタ。最近東京科學博物館研究報告 18 號トシテ大井博士ノ南方ニ於ケル研究業績ノ一部ガ發表サレタ。

○服部植物研究所――昭和 21 年 3 月 1 日　財團法人服部植物研究所ガ服部新佐氏ニヨリ宮崎縣飫肥町本町ニ創立サレタ。目下ノ事業トシテ日本產苔類ニ關スル分類學的植物地理學的研究，宮崎縣ノふろーら，九州產植物目錄及ビ文獻集ノ編纂，鄕土關係文獻及ビ資料ノ蒐集，蘚苔類標本集ノ製作ガアル。服部植物研究所報告第 1 號トシテ 21 年 2 月服部新佐氏著屋久島苔類誌 I ガ，又 12 月日本產苔類（標本集）第 1 輯ガ發行サレタ。

○染色體研究所發足――山梨縣北巨摩郡鹽崎村駒澤 270 ニ篠遠喜人博士ヲ所長トシテ財團法人染色體研究所ガデキタ。研究所ノ篠遠喜人，牧野佐二郎，湯淺明諸氏編纂ノ雜誌「染色體」（La Kromosomo）ハ東京都世田谷區宇奈根町 835 ノ力書房ヨリ昭和 21 年 9 月 10 日第 1 號，同年 12 月 1 日第 2 號ガ發刊サレタ。

○日本生藥學會生ル――學會ト生藥業界ガタイアップシテ生藥學ト生藥ノ普及，啓蒙ヲハカリ，新日本再建ニ寄與セントスル目的デ朝比奈泰彥博士ヲ名譽會長ニ刈米達夫博士

ヲ會長トスル「日本生薬學會」ガ京大薬學科内ニデキタ。先ヅ創刊號ノ雑誌「生薬」ヲ近日發行スル由，目下，會員，原稿ヲ募集中。詳細ハ事務所（京都帝大薬學科，生薬教室木村康一博士宛）ヘ問合ハセバ判ル。

○滿洲ノ大陸科學院ハ終戰後，動亂ノ餘波ヲ受ケテ大部分燒失シ圖書室及標本室ハ灰燼ニ歸シタコトガ判明シテキル。

○今次ノ戰爭ニヨツテ災害ヲ受ケタ植物分類學ニ關係ノアル外國ノ主要ナ研究所ノ情況ハ大略次ノ如クデアル。

最大ノ損失ハ何ソト云ツテモベルリンダーレムノ植物博物館ノ全壞デアル。多年ニ亙リ集積サレタ歴史的ナ多數ノ基準標本ヲ含ム腊葉ハ大部分燒失シタ。但シ Willdenow Herbarium ハ疎開サレテ居タト云フ。書庫モ全滅シ，出版物別刷原稿モ凡テ失ハレ又植物園内ノ植物ノ大部モ破壞サレタ。唯シカゴノ自然科學博物館ニ戰前ニベルリンデトラレタ 15,800 枚ニ及ブ基準標本ノ寫眞ガ殘ツタ。

アジアニ於テハフィリツピン マニラノ科學院ガ完全ニ破壞サレ，50 萬點餘ノ標本ト圖書ハ烏有ニ歸シタ。Merrill, Copeland, Foxwarthy, Elmer, Robinson 等諸學者ノ數千ニ上ル基準標本ハ失ハレタガ，相當多數ノ標本ガ全世界ノ研究所ニ配布サレテ居ルノデ Isotype ノ殘ツタモノガ可成リアルト思ハレル。

ロンドンノ大英博物館ハ燒夷彈ヲ受ケ，植物學部ノ外國腊葉室中單子葉植物及ビ裸子植物ノ標本ハ可成リ損害ヲ受ケタ。勿論リンネノ標本其他重要ナモノハ疎開シテ無事デアリ，最近元ノ狀態ニ戻サレタ。

佛國 Caen ノ植物園及ビ博物館ハ全壞シタ。

ハンブルグハ大損害ヲ受ケ，又ウキーンノ自然科學博物館ハ腊葉館ノ一部ガ燒ケタ他ハ無事デアツタ。

一方戰爭區域ニアリナガラ無事デアル事ガ分ツタモノニ，パリー自然科學博物館，オランダ ライデン標本館，ベルギー ブラツセル植物園ガアル。ロシアデハレニングラードニアル重要ナ標本館及ビ圖書館ハ損害ナク，Turczaninow ノ標本モ同地ニ移サレ無事デアツタ。

○植　物　調　査

ミクロネシアニ昨年（1946）二ツノ大規模ナ調査隊ガ派遣サレタ。一ハ米國 Commercial Co. ガ主催シ米國海軍援助ノ下ニ各方面ノ科學者ガ加ハリ，5月カラ8月ニ亙リ，カロリン，マーシアル，マリアナノ主要島嶼ノ經濟調査ヲナシ，植物學者トシテハ Fosberg, Hosaka, Wong ノ三氏ガ參加シタ。他ハハワイ大學ニヨルモノデ，St. John, Rogers, Cowan ノ三植物學者ガ加ハリ 9月ニ出發シ約一ケ月間マーシアル群島ヲ調査シ，高等植物約 625，下等ノモノ約 500 ヲ採集シタ。